

「2019花巻市スマート農業推進シンポジウム」を開催します ～ 平成31年2月6日、農業の未来を考える ～

花巻市では、2月6日(水)に「2019花巻市スマート農業推進シンポジウム」を花巻農業協同組合総合営農指導拠点センターで開催します。シンポジウムでは、今年度の農業生産革新実証実験で得られたデータの成果発表を行うとともに、農林水産省の担当者と実際にスマート農業技術を導入している農業経営者を講師としてお招きし、スマート農業の有効性と理解を深めていただきます。是非ご参加ください。

「2019花巻市スマート農業推進シンポジウム」の概要

- 1 主催 花巻市農業振興対策本部
- 2 日時 平成31年2月6日(水)午後1時30分～午後4時00分
- 3 場所 花巻農業協同組合 総合営農指導拠点センター1階 担い手研修室
- 4 内容 (1)基調講演

演題：スマート農業推進に向けた取組について

講師：農林水産省 大臣官房政策課技術政策室 課長補佐 大熊 武 おおくま たけし 氏

(2)検証報告

演題：平成30年度実証事業の結果について

講師：岩手県中央農業改良普及センター 主査農業普及員 臼井 智彦 うすい ともひこ 氏

(3)導入事例紹介

演題：スマート農業技術の導入による先進事例について

講師：いわみざわ地域ICT農業利活用研究会 道下 一記 みちした かずき 氏

- 5 参加方法 別添「参加申込書」に必要事項を記載の上、平成31年2月1日(金)までに花巻市農業振興対策本部事務局のFAX又は郵送でお申し込みください。
住所：〒025-0052 花巻市野田335-2
FAX：0198-23-1403

花巻市のスマート農業推進の取り組みについて

花巻市では、スマート農業の推進に向けて、平成28年度に東北地域の自治体で初めてRTK-GPS基地局を設置し、平成29年度までにGPS基地局を4基体制で運用を行い、花巻市の全平地地域を受信対象としました。

また、併せて、高価で導入が進まなかったGPSガイダンスおよび自動操舵システムの導入に対し、平成29年度より市単独事業にて購入費の補助を行うとともに、平成30年度からは今後、普及が進む可能性が高い農業用ドローンのオペレーター教習の認定に係る費用に対して、中山間地域に限定した補助も行うなど、スマート農業技術の活用が可能な環境の整備を進めています。

更には、スマート農業技術を実際に体験できる機会が少なく、多機能で高額な機械や設備は導入前に情報収集や実用性・収益性を検討する必要があることから、市内の農業関係機関・団体で構成される花巻市農業振興対策本部が主体となり、平成29年度から農業生産革新実証事業と称して実証実験を行ってきました。

今後のスマート農業推進について

花巻市では農業経営体の法人化や、担い手への農地の集積を進めていますが、依然として担い手の高齢化や労働力不足、技術の継承といった課題があります。そのような課題に対応し持続可能な競争力のある産地を維持するため、ICTやロボット技術等のスマート農業による高生産性の実現を図る必要があります。更に、国では平成37年までに、「農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践」することを政策目標としており、先端技術を生産から出荷まで一貫した体系として導入することや、経営分析等を行うとともに、新技術の現場への速やかな普及を今後進めていくこととしています。

花巻市では、そういった国の政策や目標に柔軟に対応するとともに、作業の省力化やコスト低減の実現に向け、引き続き、ICT・ロボット技術等の先端技術の実証フィールドを整備しながらスマート農業への農業者の理解を深めていきます。今後、自動操舵システムに加え、農業用ドローンの導入にかかる費用についての支援も検討するなど、スマート農業技術の活用が可能な環境整備をさらに進めていきたいと考えています。

〈参考資料〉

【今年度のスマート農業実証事業（実演会）の実績】

- (1) 6月14日 自動操舵付トラクタによる大豆播種の実演会（参加者約40名）
- (2) 7月23日 農業用ドローンによるハトムギの病害虫防除実演会（参加者約60名）
- (3) 9月28日 収量食味センサー付コンバインの実演会（参加者約10名）

【花巻市のスマート農業技術導入に対する独自支援】

補助内容	補助率	導入実績
自動操舵システムの導入費用への補助	導入に要する経費の3/10 (上限100万円)	H28:2経営体(国の事業(1/2)を活用)) H29:4経営体 H30:4経営体(見込み)
農業用ドローンの教習費用への補助	教習に要する経費の1/2 (1人あたり上限10万円)	H30:6名(見込み)